

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1

症例：80 歳，男性

胸焼けがするという事で上部消化管内視鏡検査を受け，GERD と診断された。

既往歴：慢性心不全，僧帽弁置換術後，高血圧症

内服：ワルファリン，アムロジピン，オルメサルタン，フロセミド，ビソプロロール

演習課題 1

この患者に PPI が処方されました。考えられる薬物相互反応と，今後血液検査で確認しておくべき検査項目を考えてください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：20 代，女性

1 年前に下血，下痢の症状が出現し，潰瘍性大腸炎も疑われたが，診断には至っていない．
対症療法で改善したため，経過観察となっていた．

2 日前から間欠的な腹痛があり，血液混じりの下痢が認められたため受診．下部内視鏡検査で，下行結腸の粘膜がびまん性におかされ，血管透見像は消失，もろく易出血性を伴い，粘血膿性の分泌物が付着していた．病理で粘膜全層にびまん性炎症性細胞浸潤，陰窩膿瘍，高度な杯細胞減少が認められ，潰瘍性大腸炎と診断された．

検査結果：血液検査

WBC 9400/ μ L，CRP 4.78mg/dL

演習課題 1

以下の患者からの質問への回答を用意してください．

1) 「この病気は治りますか？」

2) 「サラゾスルファピリジンってどんな薬ですか？」

3) 「ステロイド薬を飲むのですか？」

4) 「抗 TNF α 製剤という治療が効果的であると聞きました．最初からこちらを使ったほうがよいですか？」